

燕市産業史料館で「大キセル展」を開催

–丸山コレクションの「組み物」を18年ぶりに一挙公開します–

燕市産業史料館では、燕出身の実業家・丸山清次郎氏が生涯をかけて収集したキセルの一大コレクションを公開する「大キセル展」を10月15日から開催します。

これまで作品保存のため、展示数を絞って公開してきましたが、本企画展では、丸山氏のコレクションからキセルとたばこ入れがセットになった「組み物」55点を18年ぶりに一挙公開いたします。日本最高峰の工芸技術を是非お楽しみください。

【「大キセル展」の概要】

- 1.会期：10月15日（金）～11月21日（日）
※休館日：月曜日
- 2.時間：午前9時～午後4時30分
- 3.会場：燕市産業史料館 企画展示室
- 4.内容：丸山清次郎氏は燕市出身の実業家で、日本の喫煙具業界の発展に寄与されました。その丸山氏が生前に収集した日本有数のキセルの一大コレクションから、キセルとたばこ入れのセットである「組み物」全55点を展示します。
- 5.展示数：組物（くみもの）【キセル・たばこ入れ】55点、
キセル20本予定
- 6.入館料：大人 400円、小・中・高校生 100円
〔※市内小中学生と付き添いの保護者1人は、
ミュージアムパスポートで土・日・祝日無料〕



【丸山コレクションについて】

丸山清次郎氏は明治33年（1900）燕市生まれ。家業のキセル造りを手伝いながら20歳で上京し喫煙具商になる。彫金に魅せられ、自身の商売と密接な関係のある「キセル・タバコ入れ」の金工細工には特に興味をひかれコレクションを行いました。その後コレクションは寄贈され燕市所蔵となっています。

本件についてのお問い合わせ先

燕市産業史料館：齋藤

電話：0256-63-7666（直通）